

ひとこと

今期市議会の後半2年間の副議長を担うことになりました。重責ですが、憲法、自治法、議会基本条例に沿って、議会運営と議会改革を進めるためにがんばります。

日本共産党長岡京市会議員

はまの利夫

議員団控室 tel.955-9551 fax.955-9741

自宅 tel&fax.953-2901



議員団6人の任期後半の議会役職が決まりました

副議長	浜野利夫	乙訓福祉施設事務組合議会
総務産業常任委員会 委員	武山彩子 小原明大	議員 武山彩子
建設水道常任委員会 副委員長	藤本秀延	乙訓消防組合議会
委員	浜野利夫	議員 小原明大
文教厚生常任委員会 委員	野坂京子 住田初恵	京都地方税機構議会
予算審査常任委員会 副委員長	野坂京子 他5名は委員	議員 小原明大
議会運営委員会 副委員長	浜野利夫	長岡京市民生委員推薦会
議会運営委員会 委員	小原明大 (会派幹事)	委員 住田初恵

市民の声が動かした

水道料金が10月から値下げ!

水道料金が10月から平均8.66%値下げとなりました。これは水源の一つである府営水道の単価が下げられたことに伴うものです。

15年前の府営水道導入以来「責任水量制」のもと、市は過剰な水量の費用負担を強いられ、2回の値上げがありました。それに対する住民の「おかしい」の声におされ、府は水量は変えないものの、単価の値下げを3回おこないました。長岡京市では2回の値下げとなり住民の声が実りました。

今年度は、府営水道を受水する10の市町がそろって、府に対して「府営水道の規模見直し」も含めた要望書を提出。「住民のくらしと地下水を守れ」の声が、行政を動かしています。

水道料金値下げとセットで、下水道料金は平均10.69%値上げされました。「税の繰り入れを減らすため」と言いますが、その分の税の用途は示されず、容認できるものではありません。

下水道料金は値上げ

平成26年度決算に反対

市民負担増の一方で8億円繰り越し

平成26年度は、消費税増税、社会保障削減、労働法制の規制緩和などの総額約10兆円の国民負担増があり、市が防波堤となって市民生活をどう支援したかが問われました。

しかし平成26年度決算は、国保料・介護保険料・医療費などの値上げや障がい者施設補助などの削減の一方で、8億円の黒字を次年度に繰り越すなど、市民生活を後回しにする政治姿勢があらわれたものだったことから、党議員団は反対しました。

市営駐車場、無料化の 約束実行を



バンビオの市営駐車場は、京都市内の特定デパートで買い物をする無料サービスなどがあります。

一方、前市長が検討を約束した「バンビオの公共施設利用者の無料化」については議論すら行われていません。公共施設の駐車場で有料なのはここだけです。早急に無料化をと求めました。

進まない一文橋・野添地域の 内水氾濫対策

内水氾濫の被害を防ぐため、野添公園の地下に雨水貯留槽をつくる計画がありましたが、地下水位が高く工事は中止となりました。しかし代替策が具体化されずに年度が過ぎてしまい、住民にとって不安が残されたままです。議員団は早急に対策を進めるよう強く求めています。



駐輪場の不透明な収支

阪急、JR駅前の3ヶ所の市営駐輪場は、合計年間1億円以上の利用料収入、約5千万円の収益になります。しかし駐輪場管理で発生する不明金の扱いを市が取り決めていないため会計に反映されていません。また現在「(公財)自転車駐車場整備センター」の所有であるJR西口の駐輪場は以前から不透明な収支報告のままで、議員団はいずれも是正を求めています。

市の条例にも反する 保育所担任の非正規化



市が正規職員を過剰に減らしすぎたために、昨年度は公立保育所の11クラスで担任がアルバイト保育士となっていました(担任2人体制のクラス)。市の条例では、臨時職員の配置は正規職員の産休・育休や、緊急的、一時的にやむを得ない場合に限られています。担任を常態的にアルバイト保育士にさせるのは市の条例にも反しています。

軽減策ひろげても、 厳しい国保料の高さ



昨年度の保険料は、上限額の引き上げの一方、軽減対象を拡充、中間所得層でも据え置きました。しかし生活困窮による滞納者数は1467人となり、有効期間が3ヶ月の短期証を発行しています。国の指導で18歳以下の子どもがいる世帯には6ヶ月証を発行していることから、人道的立場でどの世帯にも最低6ヶ月証発行をおこなうよう求めました。

教訓活かさない施設整備

利便性が悪くなるのに市民や議会と議論せずに進めた「こらさ」敷地内への「竹寿苑」移転計画は、結局、昨年度末に白紙となりました。基本設計料に約600万円もかけた市の責任は重大です。また新田保育所の長六小内への移転構想も、議論の過程が市民や議会に知らされていませんでした。

これまでも「構想に合理性がない」と議会から指摘を受け、施設整備を取りやめたことがあるのに、それが教訓化されていません。

バンビオ広場～噴水の日よけ対策を

バンビオ広場の噴水は子どもたちが安全に水遊びのできる場所ですが、木陰が少なく保護者は暑いところで見守る状況です。熱中症も心配され、暑さをしのげる施設・木陰づくりを要求しました。市からは「木を植えるのは難しいがパラソルなどで対応する」との答弁がありました。



きっずな(北開田児童館)～トイレ改修へ

北開田児童館(愛称「きっずな」)は、昨年キッズルームを開放して以来、来館する乳幼児の親子が急増しています。より安心して過ごせるようにと、今年度中に1階のトイレが改修、あわせて全館のトイレも改修されます。党議員団は、すべての中学校区に児童館をと求めています。

JR駅前駐輪場～安全対策を

JR・阪急の駅前には、歩行者と自転車が入り乱れ、危ない場面もしばしばです。JR東口は自転車乗車禁止ですが全く周知されておらず、一方で西口は乗車可能であるなど、ルールもあいまいです。駅前の自転車ルールを明確にすることや、駐輪場の黒字を活かして交通整理員を置くことなどを提案しました。



マイナンバー制度

リスク問われ、市も「絶対の安全はない」

11月に通知、来年1月から実施のマイナンバー制度に関する条例案に、党議員団は、「国民一人一人の収入・財産を把握・管理し、税や保険料徴収強化、社会保障の給付削減に狙いがある」として反対しました。

現在、市は、多大な税を投入して市民の個人情報情報を外部から隔離し非常に高い機密レベルで管理していますが、マイナンバー制度の実施によって情報が流出するリスクが高まります。党議員団の質問に対し、市も「絶対安全ということはありません」と言わざるを得ませんでした。

しかし市は、「税・災害・社会保障」の法定事務の範囲と言いながら、市の独自策もマイナンバーに組み込もうとしています。今後、運用された後のセキュリティ問題や国の狙う徴収強化や給付削減を行わせないようにすることとあわせて、制度の中止を求めています。

「先進国は常識」はウソ

国は、先進国では個人番号は常識と宣伝していますが、流出や漏洩、悪用などの犯罪性の高い事件を防ぐため、むしろ規制や縮小・廃止をしています。

- ・アメリカ・韓国は、利用制限や規制をせざるを得なくなった。
- ・ドイツは納税番号、フランスは社会保障番号はあるが、統一した番号にはしていない。
- ・イギリスは導入したが、批判が高まり政権が代わり廃止された。

「立憲主義」とは、いかなる政権でも憲法にそむいた政治は許されないという考え方であり、近代の民主主義国家では常識ですが、安倍政権は違憲の疑いが強い安保法制を強行しました。中小路市長も「多くの国民が不安を抱いている」と答えました。

「戦後70年安倍談話」が話題になりましたが、長岡京市としても、戦争の歴史をどう認識するかは大事な問題です。市内でもヘイトスピーチや侵略を正当化する宣伝が行われたことが過去にありました。市長は、歴史認識について「一方的な物の見方を押しつけ、あるいは歪曲することは許されない」と答弁しました。



方向性のみえない 「総合計画」



長岡京市の今後15年の最高方針である「基本構想」案と、その最初の5年の方針である「基本計画」案が提案されました。党議員団は右のような問題があるとしていずれも反対しました。

基本構想

- ①これまでのまちづくりに対して評価や総括を示していない
- ②「人口減少時代」に対する姿勢があいまい

基本計画

- ①これまでの到達や5年間でめざす目標を示していない
- ②5年間でとりくむ事務事業が示されていない
- ③虐待や原発、法令順守など近年力を入れた政策が反映されていない
- ④全庁的・横断的にとりくむ政策が一分野にとどめられている
- ⑤市民生活に影響を及ぼす具体的な施策は議会にはからず、大まかな方向性しか示さないという姿勢が問題

相談ごと、ご意見をお寄せください。

党議員団(直通) 電話955-9551 FAX955-9741
e-mail jcpnagaokakyo@gmail.com

日本共産党長岡京市会議員団

検索

どなたでも
お越してください

議会報告 &
2016年度に向けた
市政こんだん会

11月20日(金) 19:00~
バンビオ6階 創作室1

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話